

平成30年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市勝沼B&G海洋センター			作成日	令和1年7月4日	
	所管課 担当名	生涯学習課 勝沼中央公民館	課長名	辻 学	作成者名	岡 正秀	
	指定管理者	名称	株式会社 フィッツ				
		代表者	代表取締役 清水 正倫				
		所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
		指定期間	平成30年4月 ~ 平成33年3月(令和3年3月)				
	管理施設の 概要	施設所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼1279番地				
		設置目的	市民の健康増進及び青少年の健全育成を図るため、財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団から無償譲渡を受けた甲州市B&G海洋センターを設置する。				
		利用者	市民・市民以外	施設管理 体制	3名	開館日 時間等	・6月1日(土)~7月13日(土)、8月9日(金)~8月16日(金):午後2時~5時 ・7月14日(日)~8月8日(木)、8月17日(土)~9月1日(日):午前10時~午後1時、午後2時~5時 ・9月3日(火)~9月29日(日)[土・日・祝日のみ開館]:午後2時~5時 ※休館日:開放期間中は毎週月曜日 10月1日~令和2年5月31日
	事業概要	サービス提供の内容					
指定 管理 業務		(1)海洋センターの利用の許可に関すること (2)海洋センターの施設及び設備器具の維持保全に関すること (3)海洋センターの利用に係る料金に関すること (4)海洋センターの管理に関し教育委員会が必要と認めること					
	自主 事業	(1)水泳教室 (2)子供スポーツ教室 (3)水辺の安全教室、防災教室 (4)わくわくカヌー体験会 (5)クリーン活動					

DO	管理運営コスト推移 (千円)		平成30年度 (指定期間1年目)	令和元年度 (指定期間2年目)	令和2年度 (指定期間3年目)	令和 年度 (指定期間4年目)	令和 年度 (指定期間5年目)	
	予算	指定管理料	5,950					
		利用料金収入	85					
		その他収入	235					
		管理運営経費	6,270					
	決算	指定管理料	5,950					
		利用料金収入	62					
		その他収入	221					
		管理運営経費	5,833					
		収支	399					
	施設の稼動状況	平成30年度 (指定期間1年目)	令和元年度 (指定期間2年目)	令和2年度 (指定期間3年目)	令和 年度 (指定期間4年目)	令和 年度 (指定期間5年目)		
指標	利用者数(人)	4,855						
	自主事業利用者数(人)	467						
	活動結果	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業については昨年より多種な内容にて開催し、利用者数が大幅に増え、延べ467名の参加があった。 ・スタッフと利用者で良いコミュニケーションがとれ、リピーターとして期間中複数回利用していただいた。 ・昨年より一般利用者及び自主事業利用者ともに増加しており、多くの利用者獲得が出来た。 						

CHECK		評価 (5 4 3 2 1) 高一低	評価の説明
	(1)事業の運営	2	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書のとおり適切に管理運営が行われているが、市への報告書類等が遅れることがある。 ・施設内外での利用者等の安全を第一に考え、事故、怪我等なく営業することができている。 ・自主事業は、参加者が昨年より大幅に増加したが、定員数をクリアしていないので改善が必要。
	(2)施設の維持管理	3	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の設備等については定期的に巡回、点検等を実施するなかで、適正な維持管理に努めている。 ・プール内の水質管理、室温管理、施設外の景観管理等について日常的に点検を実施している。
	(3)収入支出	3	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理経費の縮減として利用者に影響や不便が生じない範囲で節水、節電に努めている。 ・一方、収入計画に対しての実績額が少ないため、改善を要するものである。
	(4)総合評価		総合評価の説明(施設所管課による一次評価)
	優良 良好 妥当 要改善 不適	要改善	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書及び事業計画書のとおり運営が適正に実施されており、利用者等の安全面についても事故防止に努め、また施設内外の維持管理も定期的に点検を行うなど概ね良好である。 ・市への報告等については、協定書に基づき適切な手続きを行っていただきたい。

ACTION	平成30年度評価結果に対する今後の対応	
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から9月までの運営のなかで、いかに利用者の増加を図ることができるのか課題である。 ・昨年に比べ、利用者人数は増加しているが、収入計画に対しての実績が少ないため業務改善が必要な事項の検討が必要である。 ・市への報告等について、基本協定書に定められた期限が順守されていないことが課題。
	課題解決への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業については、新しい事業を取り入れる中で、募集定員に達しない事業等を見直し、更なる集客を図る。 ・魅力のある水泳教室や遊びを取り入れた各種教室などの企画を他市町村の同施設を参考にしながら、指定管理者と連携していくなかで利用者の増加を図りたい。 ・指定管理者に対して、市への報告等の期限を順守するよう改善を求めていく。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

- ・適正な人員配置や施設管理を行われ、事故防止がされている。
- ・光熱水費の削減に努め、塩山B&Gと協力するなかで効率的な運営がされている。
- ・勝沼中学校のプール施設としても利用されており、中学校と連携が図れている。
- ・市への報告等については、基本協定書に基づいた適切な手続きを行っていただきたい。